

小中生、一流の技術学ぶ

日光でホッケー教室

GSK、リーベ選手が先生

【日光】日本ホッケー協会主催の「夢見るジュニアホッケー教室」が19、20の両日、根室の市ホッケー場



トップレベルの技術を学ぶ参加者ら

で開かれた。ホッケー日本リーグに参戦する本県チーム「グラクソ・スミスクライム」のリーベ選手が講師となり、地元の小中学生約150人がトップレベルの技術を学んだ。

第一線で活躍する選手と交流することで子どもたちのホッケー熱を高めようと、昨年から同協会が全国各地で実施している。県内では初めての

開催。

19日は雨の中、GSKの選手ら21人が指導。小学生約100人がドリブルやシュートなどの基本プレーを学んだ。今市第三小の女子ホッケークラブ「今三ガールズ」所属の6年吉原仁菜さん(12)は「ドリブルの

技術を普段の練習以上に詳しく学べた」と話した。来場した同協会の滝上正志総務委員長(58)は「ここにいる子どもたちは24年パリ、28年ロサンゼルス五輪世代。出場を目指して頑張ってほしい」と期待した。(鈴木祐哉)